

## 重症心身障害児者関係施設協議会第2回交流研修会【報告】

1 日時：令和元年 11 月 20 日(水)10:00~16:00

2 場所：社会福祉法人みなと舎ゆう（通所施設）

3 内容：**10:00~10:30** オリエンテーション、準備  
**10:30~12:10** 利用者さんの日中活動への参加 支援  
**12:10~13:10** 昼食(休憩)  
**13:10~14:45** 嘱託医健診の見学、ショートステイ見学  
スヌーズレン体験、質疑応答の時間  
**14:45~15:30** 利用者さんと共にケアホームへ帰宅、見学  
**15:30~15:50** ディスカッション  
**15:50~16:00** スタッフミーティング参加 解散

4 参加者：9名(入所施設5名、通所施設4名)

### 5 参加者感想

○日中活動の取り組み方や利用者さんとの関わり方など、普段の業務とは大きく違うなぁと感じました。どうしても「人手が…」という一言に集約されてしまいますが、それだけの支えてくれている人がいることが、まず素晴らしいことだとおもいます。重心でも地域に出ていくことを実現しようとしているエネルギーを感じました。

医療的ケアの利用者が私共の施設では増えてきている現状があり、支援員の力だけでは、日中活動もままならない状況となっています。看護師や職員がもっと話し合えるような環境を作りたいと思いました。ケアホーム見学もほっとホット時代を思い出させてくれました。保護者の想いに支えられながらこれからも暮らして頂ければと思います。

○いつも自分の施設の中でいっぱいいっぱい周りを見ることが出来ていなかったのが、今日は色々な施設の方とお話しが出来てとても勉強になりました。ゆうでは、利用者さんを中心に活動やケアを行っていて、大事なことなのに難しいことを普通にやっていることがすごいと思いました。ご家族の希望を形にできるのがすごいです。勉強になりました。

○1対1のケアは、とても理想だと感じました。入所となると難しいとは思いましたが、もっと利用者さんに寄り添うことができるよう心掛けていこうと思いました。日中活動では、事前に決めておくのではなく、当日の利用者さんの様子等で決めていると聞き、とても良いと感じたので今後、自身の施設でも検討していきたいと思いました。また、制服で職種を分けない、服装は自

由というのが、とても家庭的で施設を感じさせない環境だと感じました。利用者さんと職員が家族のようで素敵でした。お家のように、時間がゆっくりしていて、落ち着ける環境でした。

○「はっ」と、させられる発見や学びがみなと舎には沢山詰まっていました。みなと舎の特徴でもあるカーペット敷き、実際歩き座り、身体から心が温まることを実感しました。同じようにスタッフが私服であること。百聞は一見にしかずと言いますが、多職種であってもメンバーさんとスタッフが過ごされている様子はとても温かく微笑ましい光景でした。メンバーさんとスタッフから心豊かな暮らしぶりが伝わり、見学している私も自然と笑顔になれました。

○ゆうは施設内がどこの部屋も明るく広々としていて、のびのびと過ごしている様子が印象的でした。活動時間も長く、時間に縛られていないところも魅力的だと思います。1対1の活動、個々に合わせたトイレ誘導等、うらやましいところがいっぱいでした。

○他施設の方とお話しが出来て、交流が出来、自身にもリフレッシュや、また頑張ろうという気持ちになれました。ゆうでの体験を通し、きっちりかっちりではないメンバーさんの生活をゆったりと楽しみながら行うことの大切さを再び思い出すことができました。どんなに今の働いている状況が忙しくても時間に追われたとしても心にこの気持ちを持ち働こうと思いました。

○他施設の方とお互いの施設の話が出来て良かったです。交流の場は必要だと感じました。自身の施設は入所なので通所できている方の生活を知ることが出来て良かったです。日中活動にプログラムを持たないことで、自由な活動が出来て臨機応変に楽しめているのだと感じました。

○同じ通所施設でも活動のやり方、雰囲気、食事の場の違いを感じました。スタッフと利用者さんの関わりが温かく利用者さんにとって第二の家の様な場なのかなと感じました。人手不足の中、ほぼ1対1の支援という事で利用者さんにとってもスタッフにとっても良い関わりができるのだと思いました。日頃の自身を振り返ることができました。

○利用者さんとスタッフの1対1での支援の場を見て、一つ一つの行動にも余裕を持った支援をしていると感じ自身の職場に戻っても少しずつでもいいので、今回の研修で見た支援が出来たらと思いました。そして、基本なことですが、一つ一つの行動にたいしての周りのスタッフへの声掛けが大事だなと思いました。送迎車に1人2人乗車しているのを見て驚きました。自身の施設では、利用者さんが50数名中40名以上が送迎車を利用しているので少人数での乗車は、なかなか難しいです。